フレームワーク方式による工事発注の概要

国土交通省
東北地方整備局

現状

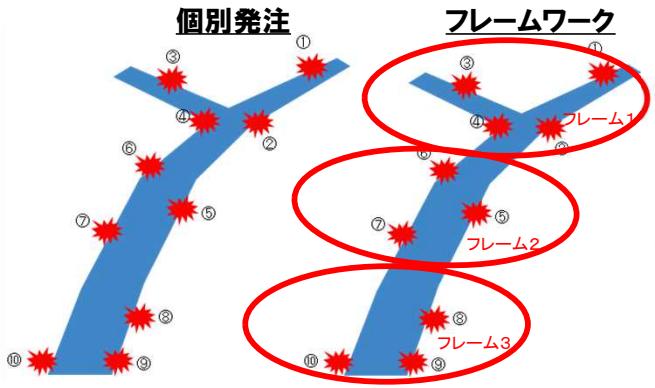
- 令和元年東日本台風災害では大規模な災害が発生し同一事務所において多数の災害復旧工事を発注
- 災害対応においては、**早期の復旧等に向けて迅速な事業執行や円滑な施工体制の確保が必要**
- 従前の一般競争入札の手続きにより、**多数の工事を一斉に発注する場合**、個別工事毎に設計図書や入札契約関係資料の作成など**全ての契約までにかなりの時間を要する**とともに、入札参加者も**技術資料作成にかかる負担が大きくなる**

試行案

（参考）【フレームワーク合意方式とは･･･】 フレームワーク合意方式（Framework Agreement）は、2006年の英国公共契約規則に規定された「長期指名候補者との事前合意制度」であり、長期指名候補者（フレームワーク企業）を選定した上で、これら企業に対して、一定期間内の発注方式等を予め合意する方式をいう（国総研資料より）

- **災害復旧工事等において、同時期に被災地域で多数の工事を集中的に発注**しなければならない場合、**入札契約手続きを迅速かつ効率的に実施**するため、**あらかじめ工事への参加希望の意思・施工能力を確認・審査**した名簿から**複数の工事参加者を指名**する**フレームワーク方式を試行導入**し、円滑な事業推進を図る

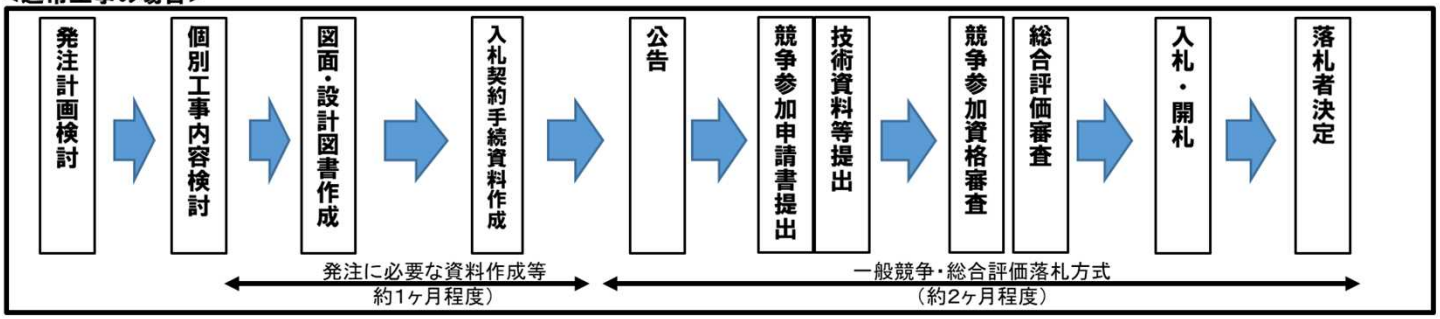
【イメージ】



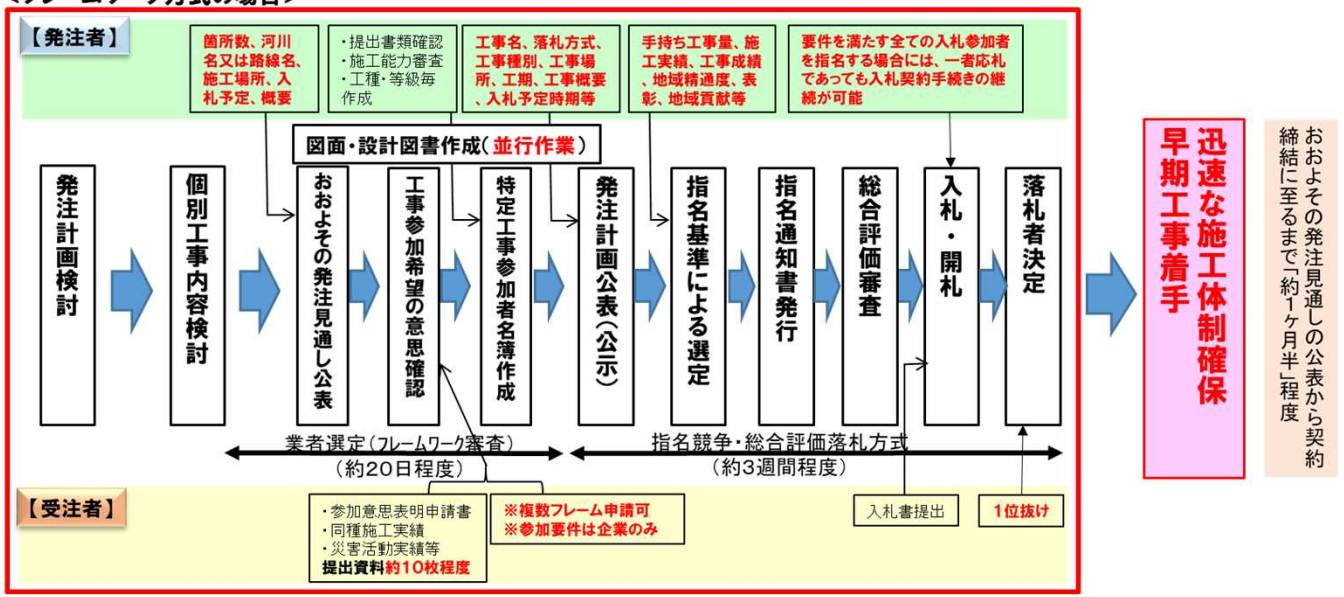
参考）
R1東日本台風災害に係る災害復旧工事発注件数
・福島河川国道事務所：15件

【フレームワーク適用工事（案）】
以下の要件の全てに該当する工事
- 分任官工事（本官工事、WTO工事は除く）
- 原則、技術的難易度Ⅰ～Ⅱの災害復旧工事
- 同時期に近隣地域で発注する3～5件以上の工事
- 同一工事種別及び同一等級区分の工事

＜通常工事の場合＞



＜フレームワーク方式の場合＞



フレームワーク方式による工事発注の概要

国土交通省
東北地方整備局

●フレームワーク数の設定
・同一管内・地域・等級・工種の複数の工事を同時期に発注するような場合、かつ比較的難易度が低い工事の場合、これらを一つのフレームワークとして設定を検討。（大規模な災害復旧工事を想定）
・同条件の工事数と、その工事の全参加者数を想定し、工事数に比して1フレームワークへの参加者数が極端に少なくならないよう、フレームワーク数を設定する。（1フレームワークあたりの工事件数は最大5工事程度を想定）

●参加者数と指名選定
・初期手続きにおいて企業の実績と参加表明の資料だけで参加可能であるため参加希望者が多めになることが予想されるが、最終的な入札参加者数が不透明であるため指名選定にあたっては、参加希望者全者が対象となることを想定。



●応札者が工事件数未満の場合
・要件を満たす全ての入札参加者を指名する場合には、一者応札であっても入札契約手続を継続する。

●落札者の決定
・落札者決定は、標準点、加算点、施工体制評価点による総合評価落札方式を標準とする。
【評価値算定式】

$$\frac{\text{標準点＋加算点＋施工体制評価点}}{\text{入札価格}}$$

●総合評価の項目
○加算点
・企業の技術力として、同種の施工実績
・災害協定に基づく活動実績の有無
○施工体制評価点
・品質確保の実効性、施工体制確保の実効性

●開札順序の設定等
・フレームワーク内において予定価格が大きい工事から開札を行い、開札順のとおり落札決定を行う。
・同一フレームワーク内の工事の落札者は他の工事の入札は無効とする。